

# 「未来へつなぐ」～いのち・まち・こころ～

《シリーズ》

## 阪神・淡路大震災20年経って考えること


問い合わせ 企画課 ☎382127

### 阪神・淡路大震災を顧みて

阪神・淡路大震災から20年を迎え、当時の状況を知るかたがたにあらためてご自身の経験や20年経った今思うことを語っていただき、分野ごとの側面からこの20年を振り返ります。貴重な経験や教訓を市民全体で受け継ぎ、新しい芦屋のまちづくりにつなげていきたいと思ひます。最終回である第5回では、震災と復興の先頭に立たれた北村春江前市長に当時のことをお聞きしました。また、子どもたちに震災の経験と教訓を語り継いでいる学校現場の思いをお届けします。

●プロフィール●  
北村 春江(きたむら はるえ)氏

平成3年に第15代芦屋市長に就任、平成15年に第17代芦屋市長を初任。日本の女性市長。



1. 早曉、大きな揺れに飛び起きた。その寸前、枕の下を「ざあ」と砂が流れるような音がしたことを覚えていた。それが何であつたか今も分からない。私は「わあ！地震だ」と縁側から外に飛び出そうとしたが、縁側が開かない。自分に「落ちて、落ちて着いて」と言い聞かせながら、落ちて着いた。そして夫が這うように出てきて「腰を打った」と一言、和だんすの前で寝ていて、身を起こしたところへたんと倒れてきて脊椎骨折。次男が慌てて布団を引きずり出し、2階から落ちてきた雨戸に敷き、寝かせた。本人は寒いと震えている。そこへ、秘書課長が「えらい地震ですわね、2人助けてきました」と来てくれ、課長は夫の様子に、病院へ運ぼうとす。芦屋病院から担架を借りて、たまたま通つてきた2人の男性に頼み、4人で病院へ運んでくださった。私も後を追つたが、芦屋病院の玄関ロビーにはすでに多くのけが人が運び込まれ野戦病院の様相、夫がどこにいるのかもわからず、私は次男に任せ、課長と市役所に急いだ。その後、次男は夫を大阪の病院に運び入院させた。

「あ！非常階段が外れている」思わずシャッターを切りました。当時勤務していた潮見小学校は、大きな揺れと液化化現象により、本来なら命を守るべき非常階段が校舎から離れ、運動場も6センチ下がりました。20年経つた今でも忘れられないのは、渡り廊下に積まれた真つさらの棺の山と、真夜中に遺体の確認に來られた老夫婦の胸に抱かれた真つさらのご遺骨の箱布です。失った命の多さと重さ、大きさを改めて痛感してしまいました。でも、失つたものだけではありません。遠くからの炊き出し、必要な物資の援助、救援物資についたメッセージなど、数えきれない温かさ、優しさをいただきました。震災から



校舎から外れてしまった非常階段(平成7年・潮見小学校)

「自分たちの地域で起きた大災害の風化を防ぐのは、ここに住み、ここで学んでいる自分たちである」という意識を子どもたちに持たせたい、

### 阪神・淡路大震災を風化させないために、できること

市役所への道では目に止まるほどの壊れた建物もなく静かだった。しかし、市役所には玄関のところまで市民のかたがたが溢れ、すでに助役が朝6時ごろからその対応にあたつてくれていた。助役はしきりに「わからない電話にかじりつき建設会社に、ユニボ、ユニボ」とパワーシヨベルを探していた。

そうした中、医師会、歯科医師会では精道小学校で負傷者の処置に対応していた。2. 手元に残っている当日13時現在の書きのメモによれば

- 死者 66名
- けが人 多数(不明)
- 避難者 2,500人
- 自衛隊員63人救援に向かっている。
- 食料・飲料水、三田市他団体に救助依頼。到着次第避難所で配布します。
- 食料・飲料水は可能な限り集めるようになっています。
- 余震の可能性があり、家へ入る時は気を付けてください。

「阪神・淡路大震災で失つたもの」  
「阪神・淡路大震災で失つたもの」  
「阪神・淡路大震災で失つたもの」


「阪神・淡路大震災で失つたもの」  
「阪神・淡路大震災で失つたもの」  
「阪神・淡路大震災で失つたもの」

「阪神・淡路大震災で失つたもの」  
「阪神・淡路大震災で失つたもの」  
「阪神・淡路大震災で失つたもの」

「阪神・淡路大震災で失つたもの」  
「阪神・淡路大震災で失つたもの」  
「阪神・淡路大震災で失つたもの」

●プロフィール●  
乾 芳 (いぬいかおり)氏

震災当時、潮見小学校に勤務。震災と育、震災と道、復興、市防災教育、市防災委員会として、震災を伝える、教材作り



※「芦屋川の歴史」は、「阪神・淡路大震災20年経って考えること」掲載のため、お休みとなります。ご了承ください。

**KOBELCO** 神戸製鋼グループ

ご入居者の「安心」「安全」「快適」な暮らしを  
充実の体制でサポートします。

**ELEGANT MAYA** エレガントマヤホーム見学会開催

1/27(火)・2/24(火) 11:00~

参加費：おひとり1,000円/昼食付  
JR瀬野、阪神岩屋駅まで車で送迎あり  
ホーム見学会以外での見学、介護居室のご相談も随時受付中。

お申込み・お問い合わせはフリーコールまで  
**0120-01-4165** (受付時間 9:00~17:00)

神戸製鋼グループ(神戸製鋼所85%出資) 経営 運営主体

〒657-0855 神戸市灘区摩耶海岸通1丁目3番10号  
TEL:078-802-6582 FAX:078-802-6503  
ホームページ <http://www.s-carelife.co.jp>

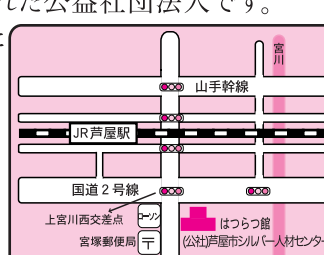
60歳からの新たなチャレンジ! ● 2月・3月は入会促進月間 ● 広告

『人生100年時代』まだまだこれから!  
～あなたの力を地域で活かしませんか?～

- シルバー人材センターは法律で位置づけられた公益社団法人です。
- 市内在住の60歳以上の方であれば、どなたでも登録できます。
- 芦屋市内の様々なお仕事を、希望に応じた条件でご提供します。

まずは入会説明会に是非お越し下さい。  
2月10日・3月10日(第2火曜13:30~15:00)  
★事前に電話申込み願ひます。

公益社団法人 芦屋市シルバー人材センター「はつらつ館」芦屋市宮塚町2-2  
TEL32-1414 FAX31-9223 <http://www.sjc.ne.jp/ashiya>



●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしやONLINE』でご覧いただけます。

広報

# あしや

No.1148 平成27年 (2015年)

1月15日号  
毎月1日・15日発行

Garden City Ashiya

発行/  
芦屋市役所(広報国際交流課)  
TEL.0797-31-2121/FAX.0797-38-2152  
〒659-8501兵庫県芦屋市精道町7番6号  
ホームページ  
http://www.city.ashiya.lg.jp/  
メールアドレス  
info@city.ashiya.lg.jp



震災20周年事業「阪神・淡路大震災を乗り越えて！」を開催  
12月23日(火)、ルナ・ホールで、兵庫教育大学大学院・岩井教授  
による「大震災から学ぶところのケア」の講演が行われました。

## 1.17ひょうごメモリアルウォーク 2015

大震災の経験と教訓を発信し、1.17を忘れずに語り継ぐことを目的として「1.17ひょうごメモリアルウォーク2015」を次のとおり開催します。ふるってご参加ください。

### ウォークコース

- 日時 1月17日(土)午前8時受付・午前8時30分スタート  
＜集合場所＞川西運動場(東10kmコース)
- 内容 「HAT神戸」までの約10kmを歩きます。



昨年度のメモリアルウォーク

- その他 上記以外の出発地、5km・15kmコースもあります。(雨天決行)  
※神戸市・芦屋市・西宮市に気象警報(暴風・大雨・大雪)が発令された場合は中止となります。

### 1.17のつどい

- 会場 HAT神戸人と防災未来センター  
慰霊のモニュメント前
  - 日時 1月17日(土)午前11時45分～午後0時30分  
(献花は午後5時まで)
- ※詳しくは「1.17は忘れないひょうご安全の日公式サイト」をご覧ください。

問い合わせ  
ひょうご安全の日推進県民会議事務局  
☎078-362-9984/FAX078-362-4459・兵庫県復興支援課内

## 今冬の節電にご協力を

3月31日までの特に平日の午前9時～午後9時までの間は、引き続き節電にご協力をお願いします。  
ただし、高齢者のかたやお子さんのいるご家庭などでは、無理のない範囲での取り組みをお願いします。

### 節電のポイント

- ◆エアコン 暖房は必要ときだけつけよう  
室内温度は適温を保とう(目安は20℃)
- ◆テレビ 見ないテレビはこまめに消そう
- ◆照明 点灯時間は短くしよう

問い合わせ 環境課 ☎38-2051

## 阪神・淡路大震災 20 芦屋市犠牲者追悼式 1.17祈りと誓い

阪神・淡路大震災から1月17日で20年という節目を迎えるにあたり、「阪神・淡路大震災 芦屋市犠牲者追悼式」ならびに「1.17芦屋市祈りと誓い」を次のとおり行います。

### 【ご注意】

- ※駐輪場・駐車場はありません。徒歩またはバス等をご利用ください。
- ※供花や供物などは、固く辞退します。 ※献花用のお花はご用意します。

## 阪神・淡路大震災 芦屋市犠牲者追悼式



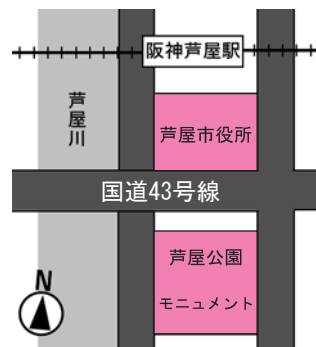
- 日時 1月17日(土)午後2時～4時
- 会場 ルナ・ホール  
※一般のかたの受け付けは、午後3時ごろに行います。  
ご遺族には、案内状をお送りしています。

問い合わせ 生活援護課 ☎38-2041

## 1.17芦屋市祈りと誓い

- 日時 1月17日(土)午前7時～午後5時<雨天決行>
  - 会場 芦屋公園  
(阪神・淡路大震災 慰霊と復興のモニュメント前)
- ※上記時間内に、記帳と献花にお越しく下さい。

問い合わせ 市長室 ☎38-2000



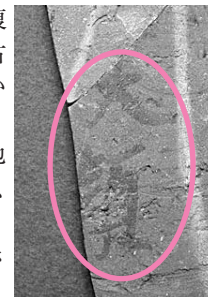
## 寺田遺跡出土「大領(かみ)」「少領(すけ)」等 墨書土器を市指定文化財に指定

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2115

市では、1月15日付けで寺田遺跡出土「大領」「少領」等墨書土器を市指定文化財に指定しました。  
墨書土器は5点からなり、平成8年度に寺田遺跡(三条南町)で実施された震災復興調査で出土したものです。奈良時代後半(8世紀後半)のもので、「大領」「少領」は古代の摂津国菟原郡(せつつのくにうはらのこほり)の郡司の長官と次官を意味しています。

これらの墨書土器は摂津国菟原郡の郡役所を推定する上で重要であり、芦屋の地が古代の地方行政において重要な役割を果たしたことを証する歴史的遺産として、稀少かつ高い学術的価値を有することから今回の指定となりました。

これらの土器は、美術博物館で開催中の企画展『遺跡が語る芦屋の歴史 土器どき芦屋の物語』で2月8日まで展示しています(要観覧料)。



## 毎年1月26日は、「文化財防火デー」です

問い合わせ  
消防本部予防課 ☎38-2098

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことを契機として昭和30年に定められました。  
消防本部では、毎年この日を中心に文化財所有者の協力を得て、消防訓練を実施し文化財防火運動を展開しています。

